

【2021年度 FD・SD委員会 事業計画】

FD・SD委員会

委員長校 : 神戸学院大学

副委員長校: 兵庫大学、神戸薬科大学

委員校: 芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸海星女子学院大学、
神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和女子大学、
神戸大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫医療大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、
兵庫大学短期大学部
計25校

<目的> 委員会全体の「総論的な目的」(ねらい)

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。

<内容> 全体から見た、小プログラムの組み立て方について

- ・公開が可能であるFD・SDセミナーの情報を収集・提供する。
- ・コンソ加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する場を提供する。
- ・専門的知識や大学での業務経験を有する者で、コンソ加盟校での就業を希望する者に、就業の機会を提供する。
- ・関西学院大学経営戦略研究科において開講する「大学運営」(2単位)を、コンソ加盟校の若手大学職員を対象として履修の機会を提供する。
- ・『内部質保証システム』構築に向けたIR推進に関するプログラムをコンソ加盟校のIR教職員を対象として開催する。

<期待される効果>

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

実施プログラム名称		予算額
①	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
②	加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催	400,000円
③	大学コンソーシアムひょうご神戸・人材バンクの活用	0円
④	「大学運営」に関する科目の受講支援	0円
⑤	『内部質保証システム』構築に向けたIRの推進	100,000円

【2021年度 FD・SD委員会 事業計画①】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員にFDおよびSDに関する情報を広く周知し、共有する。			
課題を解決する 取組概要	大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校において、公開可能なFD・SDセミナーの情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校に開放する。			
活動指標	公開セミナー開催数:4件以上/年			
内容 (計画・結果)	<ul style="list-style-type: none"> ・公開が可能であるFD・SDセミナーの情報を収集、コンソホームページ上にて提供する。 ・本仕組みを活発に運用していくため、委員長校および副委員長校が率先して公開していく。また、半年に1回程度、委員校への協力依頼を行うとともに、コンソ総会等において適宜、本事業について理解と協力を求めていく。 			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
			円	

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))	

- 自己評価基準 (対到達目標)
- 4:当初計画を上回って達成
 - 3:当初計画を達成
 - 2:当初計画をやや下回った
 - 1:当初計画を下回った

- 自己評価基準 (対継続性)
- 4:本プログラムは継続すべき
 - 3:本プログラムは継続しても良い
 - 2:本プログラムの継続には改善が必要
 - 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)
------------------------------------	---

【2021年度 FD・SD委員会 事業計画②】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	各取組への参加教職員数:300名(2021(令和3)年度までの延べ人数) ※本委員会が実施するFD・SDセミナー、研修会、講演会の参加教職員数を含める。			
課題を解決する取組概要	加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する。			
活動指標	開催数:1回以上/年			
内容 (計画・結果)	大学コンソーシアムひょうご神戸主催FD・SDトップセミナー 日程:2021年11月2日(火) 11:00~12:30 場所:未定 講師:岩崎 千晶氏(関西大学 教育推進部 准教授) テーマ:BYODの実践事例について(仮)			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	400,000円		400,000円	
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))			
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき	
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)			

【2021年度 FD・SD委員会 事業計画③】

課題	就業機会情報の提供		
達成目標	HPでの情報提供を求人情報に特化した内容に改修するとともに、HP利用者状況の実態を把握する。		
課題を解決する取組概要	大学教職員に限定した求人情報のポータルサイトに移行する。		
活動指標	・人材バンクアンケートの結果をふまえ、まずは大学教職員の求人情報提供に特化したHPに移行した上で、利用者状況を把握できるための方策を検討する。		
内容 (計画・結果)	就業機会情報提供と求職者情報提供の両方のために設計されたHPについてのアンケート結果を踏まえ、研究者を対象にした情報はJrec-inで代替可能と考えられる。 まずは、非常勤の大学職員求人情報に特化した内容にHPを改修し、認知度を高めることから始める。		
新しい試み等 (事業計画に記載)	アクセス数を把握するための検討を行う。		
事業収支	収入	支出	収支 備考 円

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)
--	---

【2021年度 FD・SD委員会 事業計画④】

課題	“ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上			
達成目標	各取組への参加教職員数:300名(2021(令和3)年度までの延べ人数) ※本委員会が実施するFD・SDセミナー、研修会、講演会の参加教職員数を含める。			
課題を解決する取組概要	「大学運営」に関する科目の受講支援 プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目の、プラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。			
活動指標	「大学運営」科目の継続開講			
内容 (計画・結果)	<p>1)「大学運営」科目概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名称:大学運営 ・開講日程:2021年度第3クォーター土曜日の13:00~16:00(予定) ・開講場所:関西学院大学大阪梅田キャンパス(アプローズタワー14階) <p>2)取組内容 2021年6月に、大学コンソーシアムひょうご神戸事務局を通じて各大学に受講のご案内をお送りする。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	特になし			
事業収支	収入	支出	収支	備考
			円	

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))	

■自己評価基準
(対到達目標)
4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)
4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)
----------------------------	---

【2021年度 FD・SD委員会 事業計画⑤】

課題	加盟校における「内部質保証」の充実		
達成目標	加盟校各校での学内の意味あるデータを収集・集計（・分析）し、エビデンスに基づいた教育の改革・改善につなげることに向けIR推進のきっかけづくりを行う。		
課題を解決する取組概要	IR活動の先進校における取り組みの紹介やディスカッションを通じたセミナー開催や、具体的なツール勉強会を定期的に開催する。		
活動指標	セミナー等開催数：2回／年		
内容 (計画・結果)	<p>「内部質保証体制とIR」をテーマとしたFD・SDセミナーを開催し加盟校での啓発活動を行うと共に、具体的な集計・分析ツールを取り上げ定期的な勉強会を実施する。</p> <p>1)「内部質保証体制とIR」をテーマとしたセミナー等の開催</p> <p>2)「データ収集・分析ツール」勉強会開催(基礎編)</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)	・2021年2月に初めて開催したFD・SD座談会「内部質保証システム構築のためのIRの推進」を踏まえ、2021年度よりFD・SD委員会の事業計画プログラムのひとつとして実施する。		
事業収支	収入	支出	収支 備考
	100,000円		100,000円

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)
----------------------------	---